

### 第31回 病態生化学セミナーのご案内

日時：平成22年5月10日（月曜日）午後6時00分～

場所：医学部 図書館3階 視聴覚室

演題：Ancient molecule HSP は獲得免疫系と如何に関わるか

How is ancient molecule HSP involved in acquired Immunity?

演者：理化学研究所 横浜研究所免疫・アレルギー科学総合研究センター

免疫シャペロン研究チーム チーム・リーダー

鶴殿 平一郎 先生

熱ショックタンパク質は(Heat shock protein:HSP)はストレスタンパク質、あるいは分子シャペロンとも呼ばれ、この世に細胞が出現するのと同時に存在した分子と考えられています。このancient moleculeであるHSPはunfoldedタンパク質に結合するという特徴がありますが、近年、獲得免疫系において重要な役割を担う事が示唆されています。それは抗原に結合し細胞内抗原トラフィックに関係しているからです。HSPが細胞質、細胞膜、細胞外に存在する時、それぞれの局在場所に応じて実にユニークな働きがあることを私たちは見いだしております。細胞をストレスから守るという側面とは別に、本セミナーでは獲得免疫系の特に関与する抗原提示におけるHSPの機能についてお話ししたいと考えています。【鶴殿 平一郎】

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp